

ロシア連邦によるウクライナ侵攻に抗議し、戦争に反対する決議

世界の恒久平和を実現することは、人類共通の願いであり、今日、特にその思いを強くするものである。

去る2月24日、ロシア連邦は、隣国のウクライナに軍事侵攻した。

今回の行動は、他国の領土を武力により侵略し、一方的に現状を変更しようとするもので、国家の主権を踏みにじるものである。武力の行使を禁じる国際法に違反し、国連憲章に反することは言うまでもなく、国際社会の秩序を根幹から揺るがしかねない極めて深刻な事態である。

いかなる問題であっても、武力を用いた解決は許されるものではなく、戦争は断じて認められない。丸亀市議会は、今回のロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に嚴重に抗議し、武力行使に強く反対するものである。

また、日本政府におかれては、ロシア連邦政府に対し、即時攻撃の停止と部隊の撤収に向け、特段の努力を払われるよう強く要請するものである。以上、決議する。

令和4年3月3日

丸亀市議会

内閣総理大臣 岸田文雄様
外務大臣 林 芳正様
駐日ロシア連邦大使
ミハイル・ユーリエヴィチ・ガルージン様

- 日にち 2月14日(月)
- 講師 中塚啓二郎公務開発部長
東京海上日動火災保険(株)
- 内容 SDGs (行動の時)



民間団体や地方自治体、官民連携の取り組みなどを
知り、本市が今目指すべき目標と実現のための行動
を、我が事として、考えるきっかけになりました。

議員研修

- 日にち 2月28日(月)
3月10日(木)
- 内容 南海トラフ地震発災時
初動対処訓練



今後30年以内に発生する確率が70～80%と言われ
る南海トラフ地震。その被害想定と対策に見識を深め、
発災時の初動対処など意識の醸成に努めました。

令和4年3月定例会 賛否が分かれた議案等の審議結果

議員名		議案名・審議結果																								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
		渡邊 一馬(市民クラブ)	守家 英明(市民クラブ)	角野 仁美(市民クラブ)	中谷真裕美(会派無所属)	東 由美(志政会)	神田 泰孝(会派無所属)	水本 徹雄(会派無所属)	岡田 剛(会派無所属)	廣田 勝也(志政会)	武田 孝三(志政会)	香川 勝(志政会)	川田 匡文(志政会)	横川 重行(市民クラブ)	加藤 正員(市民クラブ)	大西 浩(市民クラブ)	竹田 英司(真誠会)	三宅 真弓(真誠会)	多田 光廣(真誠会)	福部 正人(公明党)	内田 俊英(公明党)	真鍋 順徳(志政会)	横田 隼人(志政会)	山本 直久(志政会)	大前 誠治(志政会)	
議案第17号	令和4年度一般会計予算	可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和4年度モーターボート競走事業会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	市職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	敬老祝金支給条例の一部改正	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	下水道条例の一部改正	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は除斥または欠席した者です。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

討論

《反対》

理由

・廃止した制度を安易に復活させるべきではない。
・公共下水道使用料は改正時期の見直しを。

横川 重行

《反対》

理由

・国の処遇改善やコロナ禍での職員の負担増を無視した一時金の減額に反対する。

横田 隼人

《賛成》

理由

・日本古来の節目である傘寿に長寿を祝うことに問題はない。
・コロナ禍の厳しい財政状況の中で、公共下水道使用料の改正はやむを得ない。

※予算案に関する討論はp2に掲載。

会派の異動

4月7日付けで志政会と真誠会が合併し、竹田英司議員、三宅真弓議員、多田光廣議員の所属が、志政会に変更になりました。

編集後記

「毎朝見守りありがとうございました。ございました。」

小学校の卒業式の日朝、最後の登校となる六年生の女子児童が言った言葉です。この子は将来どんな大人になるのだろうか。今から楽しみでなりません。この子どもたちの未来の為に全力を尽くそうと改めて心に誓った瞬間でした。

一方、この原稿を書いている今、ウクライナでは多くの子どもたちが命の危険に晒されています。他国の独裁者によって、尊い未来が奪われているのです。政治の怖さを垣間見たような気がします。

幸いにも、私たちは自由に公正な選挙に参加する権利を持っています。その権利を無駄にさせない為に、この議会だよりを通じて「丸亀の政治」をしっかり発信していきたいと思えます。

広報広聴委員 廣田 勝也